

地域の力となる



校長 猪股清子

平成16年3月、10年間で過ごした仁賀保高校を後にして、以来12年の月日を経て、再び鳥海山を正面に望む日々を過ごすことができ、温かな感慨に浸っている。

2学期が始まってすぐの8月下旬に球技大会があった。最後を飾るのが男女バスケット決勝であるのは、今も変わりが無い。選手にとって、全校生徒が見つめる中、歓声がわき上がるあの時間は、まさにスターになったような、人生の一つの絶頂期なのだ。ステージからそんな姿を見つめながら、違和感を覚えた。「観衆が少ない。応援していないのか、…違う、…これで全校なのだ。」頭で十分理解しており、今まではそれほど感じなかった生徒数の

減少が、心に届いた瞬間だった。

私が最後に仁賀保高校の担任をした2000年、在校生数は581名であった。2016年の今は364名である。秋田県の少子化は続き、今後10年の間に2千人以上の中学卒業生減少が見込まれている。また世界の技術革新の波は勢いを増し、今後10年から20年の間に、現在の日本国内の労働人口の49%の仕事が自動化されるという。そんな社会の中で何をすべきなのか、どう生徒を導いたらいいのか、時代から突きつけられた大きな課題である。

今の仁高には、「地域の貢献」という大きな目標がある。

主な活動

※地域イベント支援
・情報メディア科

今年度改訂した仁賀保高校の中期ビジョンで、「地

- ・出前防災教室
- ・M1K(みんなで1泊避難訓練)
- ・各避難訓練への協力
- ・気仙沼の保育園との交流
- ・防災ずきんの配布
- ※環境保護活動
- ・全校鳥海登山(下山時清掃)
- ・ブナ植樹
- ・全校道路清掃(通学路清掃)
- ・野球部(ランニング清掃)

- ・ボスターデザイン
- ・CM・動画制作
- ・BV会(運営・企画)
- ・NCC(商品開発・出品)
- ・吹奏楽部(演奏・慰問)
- ・茶華道部(お点前・指導)
- ・フラダンスチーム(演技)

※防災教育・災害支援

- ・自主防災組織
- ・「Be助っ人」

- ・先ん挙げた活動を展開している生徒たちは、学校外の人々との関わりから積極性や自信を得、生き生きと夢を持って生活している。
- ・彼らをリーダーに、より多くのより幅広い学校と地域との協働を図り、課題や解決方法を探る思考力、前に進む行動力を身につけさせたい。それが未来を切り拓く道になると信じて。

同窓会の皆さんには多大なご支援を賜り、感謝申し上げます。在校生の道標として活躍されますように、また来年の40周年が同窓の絆を確かめ合う機会となりますように、お祈りしております。

音楽がもたらす縁

田村(佐藤)智美 15期



部活動に明け暮れた充実感が忘れられず、卒業して22年経った今でも音楽活動を続けています。

卒業後は地元の一般吹奏楽団を経て、現在は県南地区の一般吹奏楽団で活動しています。そして数年前になりますが、ご縁がありまして、当時の吹奏楽部の顧問の先生から現役生への楽器指導の依頼をお受けしました。指導というのはとてもおこがましいのでサポートという形でお付き合いさせて頂いております。思えば在校生時代、たくさん思い出があります。学校近くの松林の中で木の机を持って行って基礎練習をしたり、シンバルを持って打ち込み練習をしたり、先輩の前で鍵盤打楽器の練習曲を見てもらったり、合宿では1年から3年まで同じ部屋に集まって話をして盛り上がったたり、蒸し暑い体育館の中で汗だくになりながら練習に打ち込んだり等々、本当に思い出がたくさんあります。今、私は楽器を演奏

卒業生だより

社会人1年目がんばってます!!

畠山 菜々子 37期



私は高校を卒業した後、秋田しんせい農協に就職し、地元の東田利支店に配属されました。今は貯金の窓口を担当しています。お金に関わる仕事をしているので、毎日気を引き締めて仕事に向かっています。今まで関わりがなく、一から

問の先生から現役生への楽器指導の依頼をお受けしました。指導というのはとてもおこがましいのでサポートという形でお付き合いさせて頂いております。思えば在校生時代、たくさん思い出があります。学校近くの松林の中で木の机を持って行って基礎練習をしたり、シンバルを持って打ち込み練習をしたり、先輩の前で鍵盤打楽器の練習曲を見てもらったり、合宿では1年から3年まで同じ部屋に集まって話をして盛り上がったたり、蒸し暑い体育館の中で汗だくになりながら練習に打ち込んだり等々、本当に思い出がたくさんあります。今、私は楽器を演奏する。OBの先輩方も合宿に顔を出して下さって差し入れを頂いたり激励を受けました。今はつらく苦しい、と思う練習もたくさんありますが、それもきっと良い経験になります。経験してきた私が言うのですから。コンクール等の大会で賞は決まっていますが、そういうことだけではなく、地元のイベントや定期演奏会など仲間と共に音楽を、そして楽器を演奏することをもっとも楽しんでいます。今、私は楽器を演奏

目という身で失敗する、分からないことがあるなんていうのは当たり前のことだと思っ、変な意味で開き直って仕事をしています。仕事をやる中で辛いなと思うことは何回もありました。辞めたいと思ったこともありますが、気持ちが弱気になって、情けないと思っただけで、どんなことでも負けず嫌いに素直に挑もうと考えています。気持ちをコントロールすることは難しい事だとは思いますが、自分で状況を打開するためにもいつも心がけています。



すること、演奏出来る環境に居られることがとても幸せです。" 礼節・忍耐・和"の部訓を胸に身体が動く限り、これからも音楽活動を続けていきます。現役部員の皆さん、OBの皆さん、これからもどうぞ宜しくお願い致します。